

**効率的で効果的な
行財政運営の推進**

限られた財源の中で効率的かつ効果的な行財政運営を行い、より充実した市民サービスを提供するために、事務事業の見直しを進めています。

各種事務事業の見直し

○下水道ポンプ場の維持管理業務において、民間事業者の創意工夫を生かし、機械・電気設備機器類の耐用年数の延長など、トータルコストの縮減が図られました。

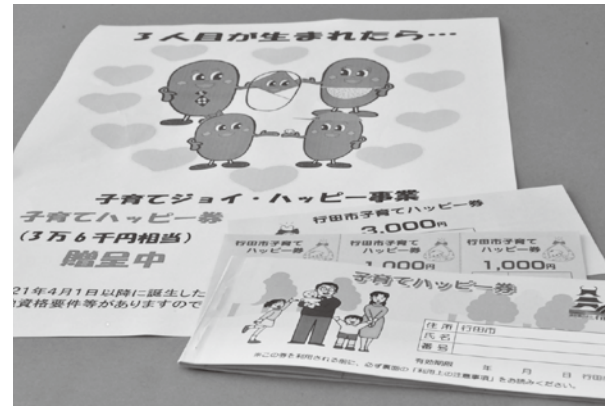
○電子入札制度の本格的な稼働により、入札事務手続きの効率化に加え、コストの縮減が図られました。

○市民の福利厚生者の増進を図る事業として、(社)伊香保温泉観光協会との協定締結により「行田市湯つたりあったか元気倍増事業」を開始。これまで多くの市民にご利用をいただいています。

○妊婦の方にかかる健康診査の公費負担を5回から14回へと拡大し、安心して子どもを生むことができる環境のさら

なる充実を図りました。

○子育て支援の新たな取り組みとして、第3子以降の子どもを育てる家庭に対し、子育てジョイ事業協賛店舗で利用できる「子育てハッピー券」の贈呈を開始しました。



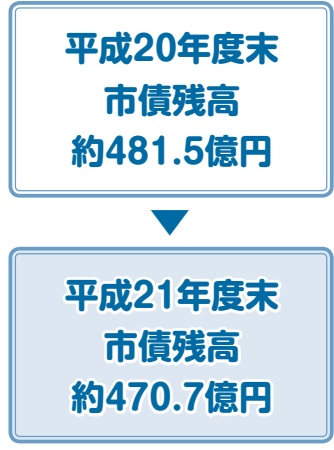
協賛店舗で利用できる「子育てハッピー券」

○景気の悪化に伴う中小企業の資金繰りを支援するため、一部の資金について貸付限度額を増額し、商業基盤の安定に努めました。

○市史料館の管理運営の見直しを行い、新たに文化財の整理・保存を効率的に行う「埋蔵文化財センター」へと転用を図ることを決定しました。

健全な財政運営の推進

○過去に借り入れた高金利の市債について、一般会計および下水道事業会計ともに繰上償還を実施。市債借入残高約11億円の削減を図りました。



○遊休市有地の公募分譲や道路拡張などに伴う売り払いなどを実施し、維持管理経費の節減と財源の確保を図ります。

遊休市有地
総売り払い面積・金額
…113.01平方メートル
4,673,090円

不用道水路敷
総売り払い件数・金額
…10件
11,001,000円

○下水道使用料にかかる費用負担のあり方について検討を行い、下水道使用料の改定を行いました。

○資産・債務の管理に必要な公会計制度の整備として、行政コスト計算書を作成。経常的な行政サービスにかかる費用やそれに対する受益者負担の状況、さらにはその性質別・目的別の内訳を示すことで、効率的な行財政運営につなげていきます。

○一部工事において、設計コンサルタン卜への委託によらず、専門的な知識を持った職員が設計・管理を行う方式としたことで、委託料の削減を図ります。

今後においても、簡素で効率的な行財政運営をより推進していくとともに、市民サービスの一層の向上を図るため、選択と集中のもとに、市民の皆さんの声を取り入れた行政改革を積極的に進めていきます。

▼意見・問い合わせ 企画政策課改革推進担当(内線311)